

# 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会会議記録

新型コロナウイルス感染症対策特別委員長 平岩 純子

## 1 日 時

令和5年1月24日（火） 午後1時30分から  
午後1時51分まで

## 2 場 所

第3委員会室

## 3 出席した委員の氏名

平岩純子、衛藤博昭、吉竹悟、清田哲也、阿部長夫、太田正美、森誠一、木田昇、  
二ノ宮健治、原田孝司、馬場林

## 4 欠席した委員の氏名

今吉次郎、戸高賢史、堤栄三、末宗秀雄

## 5 出席した委員外議員の氏名

な し

## 6 出席した執行部関係者の職・氏名

な し

## 7 会議に付した事件の件名

別紙次第のとおり

## 8 会議の概要及び結果

最終報告書素案及び今後の委員会スケジュールについて協議を行った。

## 9 その他必要な事項

な し

## 10 担当書記

政策調査課調査広報班	主査	吉野美穂
政策調査課調査広報班	主任	麻生ちひろ
議事課委員会班	主査	吉良文晃

# 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会次第

日時：令和5年1月24日（火）13：30～

場所：第3委員会室

1 開 会

2 報告書（案）について

13：30～14：00

3 閉 会

## 会議の概要及び結果

**平岩委員長** これより、新型コロナウイルス感染症対策特別委員会を開催します。

本日は都合により、今吉委員、戸高委員、堤委員、末宗委員が欠席しています。

今回は、第1回定例会開会日に本会議場で報告する本委員会の報告書の素案について協議します。

委員の皆さんには事前に素案を送付していますので、内容は把握されていると思います。また、数名の委員からは事前に骨子案に対する御意見もいただいていた。そうした意見も踏まえて、報告書の素案を作成したので、内容について事務局から説明してください。

〔事務局説明〕

**平岩委員長** ただいまの説明について、何か御意見等がありますか。

**衛藤副委員長** 事前に会派で話し合ったのですが、「終わりに」の中の「国レベルでの国産ワクチンや抗ウイルス薬の開発」という箇所を、「産官学が一体となった国産ワクチンや抗ウイルス薬の開発」という表現に変えてはどうかという意見が出ました。そのように修正できればと思いますが、いかがでしょうか。

**平岩委員長** ただいまの衛藤副委員長からの提案について、他の委員の皆さんは何かありますか。

〔「なし」と言う者あり〕

**平岩委員長** では、そのように修正したいと思います。他にありませんか。

**原田委員** 今、2類相当から5類への引下げの議論が起きています。ただ、この報告書を作るときには2類相当であることを前提にしていますよね。今後5類になったときにどんな対応になるのかは少し気がかりなので、「終わりに」の中で、引下げの議論が起こっていることやそうした部分についてはこれからさらに検討を重ねていくといった文言が必要になるのではないかと思います。

**平岩委員長** 政府は春をめどに検討していて、

5類になればワクチン接種や入院対応など、いろいろなことが変わってきます。今の段階でそのことについて、本委員会としてどう触れるべきかということですね。

**阿部委員** 私は原田委員に賛成です。コロナはまだ収束したわけでもないし解決できたわけでもない。若い人にはダメージが小さい病気かもしれませんが、一定の年齢以上の人や基礎疾患のある人にとってはダメージが大きい病気、中には亡くなる人もいます。2類相当から5類に引き下げて日常生活を取り戻そうとしても、そうした人たちにとってなかなか日常生活は戻ってこないと思うんです。ですから、それをどう解決していくかという課題が残っていることは、本委員会として触れておくべきだと思います。

**平岩委員長** ありがとうございます。他にありませんか。

**木田委員** 私も事前にいくつか意見を提出しました。コロナ対策に関する国からの予算の執行の在り方について、致し方ないことではあります。省庁別のメニューで交付金が来るので使途が限定された交付金が多かったですよね。例えば旅割の財源ですが、この間2回くらい、旅割だけで60億円くらいの補正があったと思います。そのうちの一部でもポストコロナに向けた観光対策に使える自由度があれば、もっと地方の実情に合った様々なことができたという思いがあります。ですからもう少し自由度の高い交付金制度を国に要望するなどがあって良いのではないのでしょうか。「終わりに」の中にでも加えられないか御検討いただきたいです。

**太田委員** 旅割は2回3回と回数を重ねる中で事務が効率化されて、使い勝手も良くなって、利用する消費者にとっても良いし、宿泊施設側も段々と慣れてうまく回転するようになったと思います。一方で、例えば雇用調整助成金では悪用されたケースもあり、チェックが甘くなるというか、うまく使われていないことも一部で

は起こっているようです。木田委員の気持ちはよくわかりますし、国費をどのように健全に使えるようにしていくかはまた別の問題ですが、自由度が増すとチェックが大変になり、それにより全体の流れやスピード感に支障が出ることもあると思うので、なかなか一概に良いとは言えないのではないかと思います。

**平岩委員長** 御意見としてお伺いしたいと思います。ありがとうございます。では今、意見が出た5類への引下げと交付金の件は、文言を検討し、修正して次回の委員会で示したいと思います。具体的な表現等は正副委員長に一任願います。また、この報告書は本委員会が活動してきたことのまとめになります。国への要望や要求事項についてはこれから先のことになると思いますので、その取扱いについてもお任せいただければと思います。

**吉竹委員** その点について、今、本委員会としてまとめに入ったところで、過去を整理するのか未来に向かっていくのか。未来に向けてというのわかりますが、来年度以降、またコロナの特別委員会が立ち上がるかどうかはわかりませんよね。今、我々ができることはこれまで起こったことについて提言する。それも最終的に県民に向けて発信するのであれば、あまりに先のことばかりになるのもどうかと思います。まだ状況は変化していますよね。国も動いているし県も動いている。そしてそれを県議会として審議することになるので、さきほどの交付金の件のように、次の段階に踏み込んで、今後こうあるべきじゃないかと話をするのであれば、その前に、特別委員会は来年度以降も継続すべきであるとか、そういう整理をしておく必要があるのではないのでしょうか。その辺りを区別しておかないと話がごちゃごちゃになってしまうのではないかと思います。

**平岩委員長** 難しいところではありますが、コロナはどんどん変遷して行って、何が起きるかわからない状況です。そして2類相当から5類へというのは一つの大きな転換点になると思います。次期以降の特別委員会の有無については体制も変わりますので関係ないことだと思いま

すが、本委員会としては少し先も見据えて、とにかくコロナはどんどん変遷していることを念頭においてまとめていくしかないと思います。御理解いただければと思います。

その他に何かありますか。

〔「なし」と言う者あり〕

**平岩委員長** それでは、意見交換はここまでとします。もし追加で御意見がある場合は、1月27日までに事務局あて御連絡ください。皆さんからの意見を踏まえて修正作業を行い、次回の委員会で最終決定をしたいと思います。

では、今後の委員会のスケジュールについて事務局から説明してください。

〔事務局説明〕

**平岩委員長** ただいまの説明について、何か御質問がありますか。

〔「なし」と言う者あり〕

**平岩委員長** 事務局から説明があったとおり、今回は2月13日の午後1時30分から委員会を開き、報告書の内容について最終決定をします。御出席をお願いします。

この際、他に何かありますか。

〔「なし」と言う者あり〕

**平岩委員長** それではこれで委員会を終了します。これからまだ雪がひどくなるそうですのでお気を付けください。お疲れ様でした。